



福祉予算削るな！ 福祉を金儲けにするな！

10・27

愛知県民集会



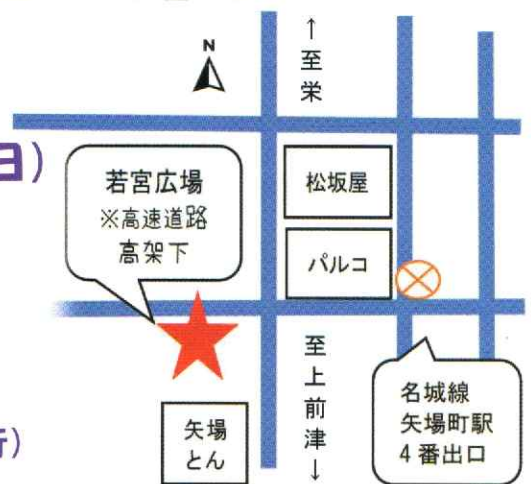
日にち:2024年10月27日(日)

場 所:若宮広場

時 間:10:00~集会

★保育・障害・高齢など
各分野から発言

11:00~パレード(小雨決行)



実行委員会にかかわる福祉施設の仲間たちが描いた作品を使用しています

主 催: 第26次 たい26じ ふくしよさんけする ふくし かね 福祉予算削るな！福祉を金もうけにするな！ あいちけんみんしゅうかいじつこういんかい 愛知県民集会実行委員会

問い合わせ先: 全国福祉保育労働組合東海地方本部 名古屋市熱田区沢下町 9-7 労働会館東館 405
TEL 052-881-2971 FAX 052-881-2998

社会福祉は金儲けのためじゃない！ 公的責任で人権を守る社会福祉を！

愛知県民集会とは

愛知県が 1999 年度愛知県予算(案)県単独補助金の一律 30%カットを提案したことを契機に、労使・公民、福祉関係の当事者、団体と学者・研究者によって発足し、補助金カットを 15%に圧縮させました。以来 25 年「福祉予算削るな！」「福祉を金儲けにするな！」の声を上げ続け、秋に屋外集会を行っています。



福祉の市場化では人権保障はできない

この間、私たちが運動を続けてきたことで変化が起きています。高齢・障害分野では報酬をプラス改定させ、さらに衆議院の厚労委員会より政府に対しさらなる職員処遇の改善の検討を求める決議が全会一致で可決されました。学童保育分野では常勤複数配置をした場合の人員費が増額されました。保育分野では「子どもたちにもう 1 人保育士を！」の運動から、3・4・5 歳児の保育士置基準を改善させ、1 歳児についてもこども家庭庁から予算要求を政府にせまるところまでできました。

しかしながら「骨太方針 2024」では、給付抑制と利用者の負担増が示され、社会福祉の公的責任を後退させる動きが強まっています。さらには「福祉の市場化」のもと、憲法で保障された権利としての社会福祉ではなく、お金を払える人だけが利用できる「買う福祉」に変質させられています。金儲けを目的とした法人の参入により、高齢者も障害者も子どもも、突然の事業閉鎖による処遇が守られない問題すらおきています。さらには職員不足により事業を閉鎖・縮小せざるを得ない事業所も増えています。

一方で 2025 年度防衛費予算要求額は 8.5 兆円と急速に増加しています。防衛費を増やせば社会保障費が削減されます。戦争できる国に向かうのではなく、誰もが大切にされる社会に向かうべきです。

私たち社会福祉に関わる仲間と声をあげ、防衛費を増やすのではなく、福祉予算を増額させ、権利としての福祉を守るために力を合わせて行きましょう。

当日プログラム (予定)

- 9:45～オープニング
- 10:00～集会スタート
- リレートーク(調整中)
- ※今年は分野ごとに発言
- 保育、学童保育、障害、高齢、自治体職員
- 10:40～アピール文採択
- 10:50～パレード出発
- (若宮広場出発～栄スカイル前)



参加団体:愛知学童保育連絡協議会・愛知県共同保育所連合会・あい右保育共同連合会・愛知県民間社会福祉施設経営管理者会議・愛知県保育団体連絡協議会・きょうされん愛知支部・愛知県障害者(児)の生活と権利を守る連絡協議会・全日本建設交運一般労働組合愛知学童保育支部・全国福祉保育労働組合東海地方本部・名古屋市学童保育連絡協議会・名古屋市公立保育園父母の会・名古屋市職員労働組合・名古屋市職員労働組合福祉支部・日本自治体労働組合総連合愛知県本部 後援団体:愛知県労働組合総連合・愛知県社会保障推進協議会